

ベラビスタ Ribbon Chapel

東京に拠点を置く建築家、中村拓志氏の設計による「リボンチャペル」はベラビスタ スパ&マリーナ最大の目玉です。2014年に完成した高さ 15.26 メートルのウェディングチャペルは瀬戸内海を眼下に望む敷地端部にあります。チャペルの中心は、愛し合う二人のように互いに支え合い結び合う 2本のらせん階段。リボンチャペルで結婚式を挙げる 2人は時折すれ違いながらそれぞれ別の階段を登り、最後に最上段で一緒になります。最上段に向かうこのコースは結婚に至るまでにそれぞれが歩んだ道を象徴しています。

けれどもこの 2本の階段は単なる象徴ではありません。チャペルは階段に囲まれた円錐形のガラスの空間で、階段はチャペルの壁や屋根の役目を果たしているのです。こんなにも複雑で、しかも開放的で遊び心あふれるデザインを実現するには最新の構造プランニングが必要でした。中村氏は光を活かした建物の設計で知られています。階段のらせん状の形状によって光は思いもよらない角度でリボンチャペルに射し込み、光が変化すると建物そのものの形が変わったかのように見えます。中村氏はまた、天然の素材に魅せられていますが、それがリボンチャペルにも表れています。祭壇や 80 の座席を含むチャペルの調度は木製で、外壁は白く塗られた木の板に覆われています。